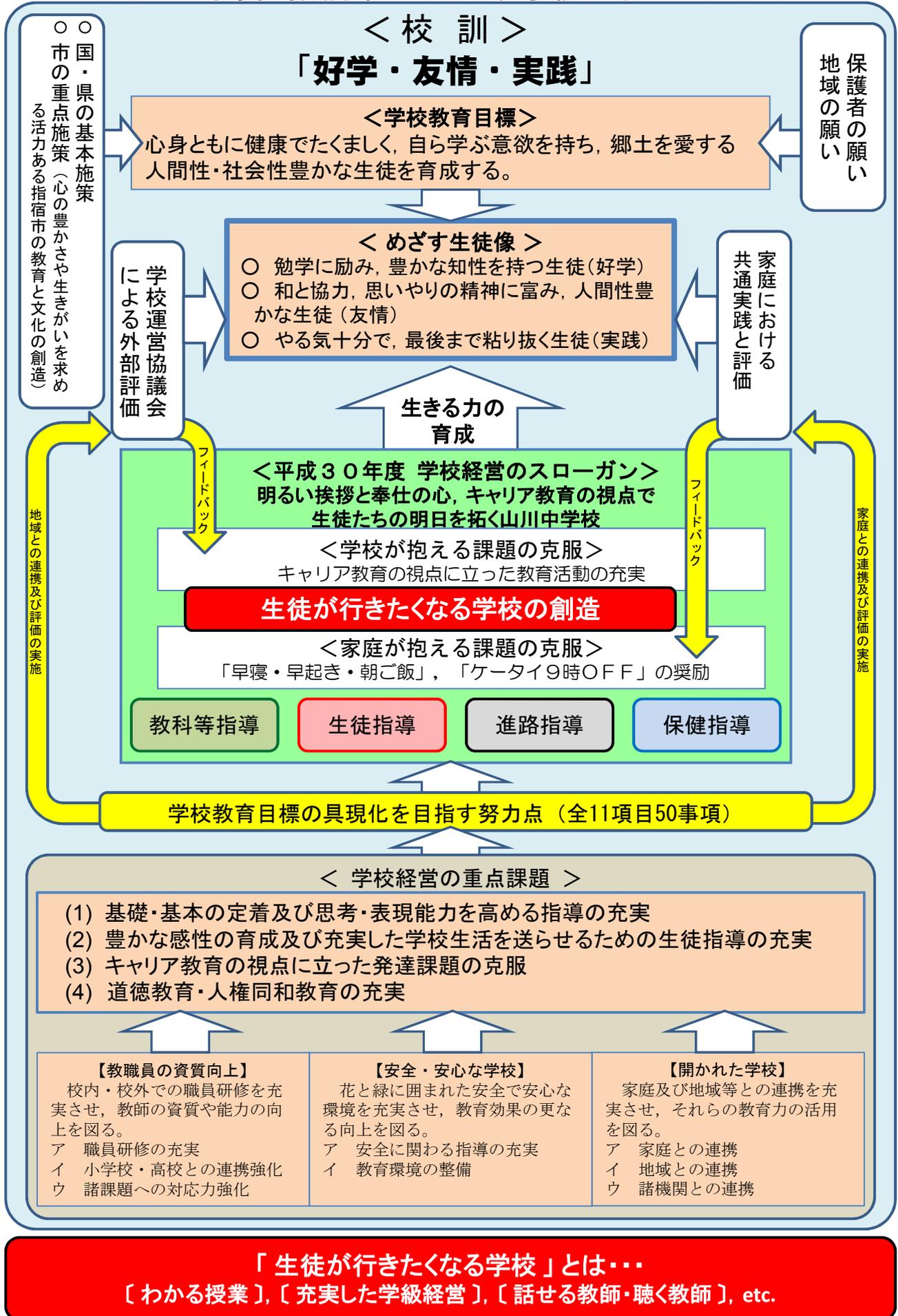


平成30年度 指宿市立山川中学校グランドデザイン



学校経営の概要

経営の基調

日本国憲法，教育基本法，学校教育法等の法令及び県教育委員会，市教育委員会の教育施策，保護者や地域の願いを踏まえ，21世紀を担う，知・徳・体の調和のとれた，心豊かな生徒の育成を図るために山川中学校の教育を推進する。

1 経営方針

- (1) 人権尊重の精神に基づき，一人一人を大切にしたい心の触れ合う教育に努める。
- (2) 「生きる力」を育むための「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の育成を目指し，学習意欲の向上を目指す教育の実現に努める。
- (3) 知識・技能の習得と思考・表現力等の育成の調和を図った教育に努める。
- (4) 教育環境の整備・充実に努めるとともに，健康や安全についての意識を高め，生涯を通じて健康の保持・増進や安全の確保ができるための教育に努める。
- (5) 学校運営協議会や学校関係者評価等を活用しながら，保護者や地域との連携を深め，コミュニティスクールの趣旨に則った学校づくりを展開する。

2 学校教育目標

心身ともに健康でたくましく，自ら学ぶ意欲を持ち，郷土を愛する人間性・社会性豊かな生徒を育成する。

(1) めざす生徒像（校訓）

- 勉学に励み，豊かな知性を持つ生徒（好学）
- 和と協力，思いやりの精神に富み，人間性豊かな生徒（友情）
- やる気十分で，最後まで粘り抜く生徒（実践）

(2) めざす学校像

- 整然として清潔で，潤いのある学校
- 規律と秩序が保たれ，活力にあふれた学校
- 気品と落ち着きがあり，家庭・地域に開かれた学校

(3) めざす教師像

- 職責感にあふれ，生徒・保護者・地域に信頼される教師
- 授業を大切に，研修意欲あふれる専門性豊かな教師
- 心身ともに健康で，豊かな人間性・社会性のある教師

3 重点課題

- (1) 基礎・基本の定着及び思考・表現能力を高める指導の充実
- (2) 豊かな感性の育成及び充実した学校生活を送らせるための生徒指導の充実
- (3) キャリア教育の視点に立った，生徒の基礎的・汎用的能力の育成
- (4) 道徳の教科化への対応と人権同和教育の充実
- (5) 小中連携教育から小中一貫教育への移行のための研究と計画的実践

4 努力点

(1) 基礎・基本の確実な定着と、思考・表現の能力の育成

- ア 授業時数確保と教育課程の確実な実施
- イ 授業における主体的・対話的で深い学びの場の設定
- ウ 言語環境の整備とコミュニケーション能力の育成
- エ 個に応じた指導の充実
- オ 各教科等の指導及び家庭学習における学習意欲の向上と学習習慣の確立

(2) 積極的な生徒指導の充実

- ア 好ましい人間関係を基盤とした、よりよい集団生活が営まれる教育的環境の形成
- イ 全教職員の共通理解に基づく協力・指導体制の確立
- ウ 生徒理解の推進及び教師と生徒の信頼関係の構築
- エ いじめ・不登校・非行・情報モラル等問題行動の未然防止と早期発見・早期対応
- オ 家庭・地域社会・関係機関等との連携・協力の推進

(3) 道徳教育の充実

- ア 特別な教科道徳の指導計画の研究と、それに基づいた道徳の時間の充実
- イ 学校教育全体を通じた道徳性の育成
- ウ 清掃、奉仕活動や地域活動等への参加によるボランティア精神の涵養
- エ 朝の10分間読書、読み聞かせ等の読書活動の推進による豊かな心の育成

(4) 健康・安全・気力・体力づくりの充実

- ア 体力の向上及び心身の健康保持・増進
- イ 性に関する指導、心の健康、薬物乱用防止教育、生命尊重に関する指導等の計画的実施
- ウ 教室及び校舎内外の安全点検、登下校の通学時の安全指導の徹底
- エ 給食指導の充実とアレルギー対応、異物混入防止の徹底
- オ 部活動等による、心技体の調和のとれた生徒の育成
- カ 家庭における「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進

(5) 特別活動の充実

- ア 学級活動による望ましい人間関係の形成と自主的・実践的な態度や健全な生活態度の育成
- イ 生徒会活動による自主性・主体性及び健全な学校集団の育成
- ウ 学校行事による集団への所属感・連帯感の醸成と社会性や集団行動における望ましい態度の育成

(6) キャリア教育の充実

- ア キャリア教育の視点に立った教育活動の見直し
- イ 3年間を見通した系統的・発展的指導による基本的・汎用的能力の育成
- ウ ガイダンス機能の充実による主体的な進路選択及び自己実現を図ろうとする態度の育成
- エ 職場体験学習等による生徒一人一人の勤労観や職業観の育成
- オ 卒業生や上級学校等との連携による進路指導の充実

(7) 人権同和教育の充実

- ア 人権尊重の視点に立った授業及び人権感覚を育むための教育活動の充実
- イ 人権的課題に対する正しい理解と認識に基づいた教育活動の推進
- ウ 人権尊重の視点に立った生徒・保護者との関わり方の徹底

(8) 環境教育の推進

- ア 教室及び校舎内外の整理整頓，清掃活動の徹底
- イ 掲示，放送等による校内の言語環境の整備
- ウ 体験的活動やごみ分別作業等を通じた実践的能力・態度の育成
- エ 省エネ，省資源等環境問題等への関心と環境保全に貢献する態度の育成

(9) 特別支援教育の充実

- ア 個別の指導計画，教育支援計画に基づいた組織的な支援
- イ 教師間の連携による効果的な指導法の工夫
- ウ 生活実践力を高める工夫と個を伸ばす学級経営の充実
- エ 関係保護者，市就学指導委員会，特別支援学校等との連携の充実

(10) 研修活動の計画的推進・充実

- ア 教育課題解決のための研究の計画的推進
- イ 研究授業・事例研究等を通じた実践的研究の推進と成果の蓄積
- ウ 各教科等における研究推進とその成果の全職員への還元
- エ 県総合教育センター移動講座等の受講の推進
- オ 山川地区小・中・高の連携推進(H32年度の小中一貫教育を見据えた取組の推進)
- カ 市教育委員会等関係機関との連携

(11) 地域と連携した特色ある学校づくりの推進

- ア 保護者・地域との密接な連携づくり
- イ 学校運営協議会の趣旨に則った学校づくり
- ウ 地域の素材・人材の掘り起こしと教材開発及び積極的利活用
- エ いぶすき学校応援団の活用
- オ A L T等を活用した国際理解教育の推進

〈平成30年度 学校経営のスローガン〉

明るい挨拶と奉仕の心，キャリア教育の視点で
生徒たちの明日を拓く山川中学校